この文章は私、日下真旗が記述している、私は2000年７月３日生まれ、血液型Ｂ型、広島県福山市神辺町で生まれた、小学校は福山市新市町常金丸小学校で学んだ。

この本を書いたのは、望まず苦しんでいる人がいて、それはあってはならない事だからです。世界を少しでもいい方向に向かうように、この本を書きました。

まず、一人で目的に挑めば行けるところは限られる。

１００人の組織で目的に挑めば行けるところは協力できれば一人の時よりはるかに遠くに行ける

全人類で共通の目的に挑めば、協力できれば１００人の時よりはるかに早く遠くに行ける。

全人類の目的は個人の目的を達成することではない、私たちはたとえ自分だけの目的を達成したとしてもいいとは思わない、全員が目的を達成できないと意味がないと思う。

個人の目的達成を目指すのならば、簡単なことであれば個人で行うのが有効だが

難しい個人の目的は全体で個人の目的をかなえる、また全体の目的も全体で叶えるという考えが一番個人の目的も全体の目的も達成できる。

また、情報を個人が独占することはなく、目的が全員の目的を達成することならば、全員が協力でき、情報も誰一人独占することなく、皆で共有できれば、もっと早く目的を達成できその過程でもたくさんの人が救われる。

みんなで情報をすべて出し協力できれば、すごく早く目的が

まず私は今理想どうりに出来ない。そして、理想どうりにできない

目的をひたすらに追うのではなく、理想どうりに出来ていない、目的より今困っている人を一人でも救う、

理想どうりに出来れば、みんなで幸せな状態でみんなの目的を達成でき笑いあえる暖かい場所をつくる。しかし出来ない以上。

やれることは、今苦しんでいる人を一人でも救う、しかしそのために今滅びてはいけない。

目的はみんなの目的をみんなで達成することであり、そのために今、出来るだけ多くの人と協力し、出来るだけ多くの人をその過程においても幸せであることが大切だと思います。

それが現状の一番いいアイデアだ。私たちは、構造にも支配されない　誰にも支配されない　が個人個人すべての人の目的が達成できるということを実現させる為に、最高のものを作れるはずである。

そして物理的に可能であるから実現させるのではない、叶えたいから可能にさせるのだ。

同じものが作れる、それ以上のものが作れる、

人間はまだ見ぬ個人個人それぞれの最高の目的を必ず達成できる♡

目次

題名をまとめる

まとめの結論を１００００文字で記述する

それに基づいた３００００文字で分かりやすく解説

具体的な例や、現実の論文などを取り入れる＋５００文字

最後にあらためて世界に問いかける１０００文字

合計４００００文字以上を最短で達成する。

一日でやることはこの本を書くことだけ。

本を書き上げるためにトレーニング　睡眠　食事　サプリメント　仕事を全力でやる　一日の悩みや考え事苦しい感覚を出来るだけ減らす、しかし意思は損なわないようにトレーニングする　以上を実践する。

結論から始めるんだビビるな臆するな

お前は無敵だ最強だ。

まだある。

この本を出版する、まずこの本を、モチベーションメンタル？関係ねえ今日燃え尽きていい。今日できれば死んでもいい。

あ、今日も一文字書けたね、

知識は集めたよ、時間と存在は同じ

人間は環境から情報統合つまりは運動発動によって環境に影響を与える、環境から影響を受けて、環境に影響を与える互換関係にある、

あえて頑張りたいのに頑張らない、ぐらいになる、それは体がもっと欲する場所が存在するからだ。

情報を集まった、考えるとは既存知識範囲内の情報、立案、検証することと、既存知識外の情報で立案、検証することの2種類があり、２の立案にいはひらめきなど言語範囲外の要素がある、２は言語が存在したうえで可能な範囲の部分があり、言語によって人間の思考は高度化されてきたことは間違いない、光があるんだきっとすごいよすごいよ、もう１０分だよ興奮するね５分考えるだけでいいのに１０分も考えたよすごいよすごいよすごいよすごいよ。

一は生物にもともと存在する、他の生物にも存在するニューロンと＝関係にある、美しいものと、言語を作成するという表現、言語はイメージ言語外概念を受容し、認識し、情報を統合することで運動発動、イメージ発動

ならばニューロンいやDNA＝時間と存在＝一なるすべて零POINTの表現である。それは美しい表現を持つ、それは美しくありたいのだ、世界の表現、意志は初めから存在した。生まれたい魂が作動。守るよ、初めからすべてありはした。生れたい

私の原点ン位存在有無より本体にふさわしい本体があるのだが、その本体は今につながっており、現実に帰着するわけではない、今に帰着するのだ、今とはイデアの反映でありまそれは今。私の有効打は数の始まり。

感謝しかないのさ、そうさ始めよう。

この世界を変える方程式かいいね。昨日は苦しい夢をみたよ、でも大丈夫さ、俺は日下真旗だからよ、大丈夫前を向け私ならばきっとできるはずだよ、

今すぐに世界を救うよ何が出来るかな、みんなの目的は私が作り出すよ、大丈夫安心しな。

最高の世界に塗り替えるよ、どうするかな、意志が変数である、頼むよ、現実はげんじつである、脳の及ぶところではない。そのままでいい、個を出してはならない、個をいじれば、それが苦しみを生む、競争の根底は何だ、それは個の影響だ、それが競争を生む、ならば仏教は本来は正しいが、個を超越したところ、個は子であるからはなれ、割と元来の繁栄に御影。。

今と決まっている終点は決定しているしかし、それは満足に値しないのであろう、それは本体は今知る。。ならばして私は最高の世界を創造する、

ならばざる負えないほどの限界点を派生してこの概念けいえんすういい日下真旗。。。

橋皿エバ、創造と、元来物理を超える意思があり、意志を超えるいま。。

今を分解して、再構成する、物質、動かせる、意志動かせる、最高の世界動かせる。しいなましろ。すべて使え自由だ、意志いいよ。

この文章は私、日下真旗が記述している、私は2000年７月３日生まれ、血液型Ｂ型、広島県福山市神辺町で生まれた、小学校は福山市新市町常金丸小学校で学んだ。

本書で伝えたいこと、

世界共通の目的を決めよう

正しい倫理とは

善悪とは

宇宙の本当の姿とは

悟りとは

神は存在するのか

精神病について

幅広い情報

まとめ

1人で目的に挑めば行けるところは限られる。

１００人で目的に協力して挑めば行けるところは1人の時よりはるかに遠くに行ける

全人類で共通の目的に挑めば、協力できれば１００人の時よりはるかに早く遠くに行ける。

全人類の目的は1個人の目的を達成することだけではないでしょう、1人が自分だけ望む目的を達成した場合、1人以外の沢山の人は、後で説明しますが、それぞれの目的を達成できない場合や、苦しく思うことが増えることが考えられる、今の世界を見れば沢山の国それぞれに別の目的がある為、国同士は1つにまとまらず、国同士が支配し合う様になっているのではないだろうか、それについて説明したい。

個人の目的達成を目指す際、簡単なことであれば個人で行うのが有効だが

難しい個人の目的は全体で個人の目的を達成する。全体の目的は全体で叶えるのが一番個人の目的も全体の目的も達成できると考えられる。

情報を個人が独占せず、全員で全員の目的を達成するのなら、全員が協力でき、1人が情報を独占することなく、皆で共有できれば、もっと早く目的を達成できその過程でもたくさんの人が救われる。

全員が情報を隠すことなくすべて出して協力できれば、共通の目的の達成確率は高まる。

今、私は、理想どうりに出来ない、理想どうりに出来ないのであれば、目的達成を目指すより今困っている人を救うほうがよいと考えられる。

理想どうりに出来れば、みんなで幸せな状態でみんなの目的を達成でき笑いあえる暖かい場所をつくる。しかし出来ない以上。

やれることは、今苦しんでいる人を一人でも救う、しかしそのために今滅びてはいけない。

目的はみんなの目的をみんなで達成することであり、そのために今、出来るだけ多くの人と協力し、出来るだけ多くの人をその過程においても幸せであることが大切だと思います。

それが現状の一番いいアイデアだ。私たちは、構造にも支配されない　誰にも支配されない　が個人個人すべての人の目的が達成できるということを実現させる為に、最高のものを作れるはずである。

そして物理的に可能であるから実現させるのではない、叶えたいから可能にさせるのだ。

同じものが作れる、それ以上のものが作れる、

人間は、今だに存在しない、人それぞれの最高の目的を必ず達成できる

世界共通の目的を決めよう

世界の現在の状況は明らかに間違っている、根本的な原因は共通目的の不足が考えられます、具体的に最終目的を、人類という枠組みで言えば、人類全員の目的を達成するといったような全員のことを自分と同様の存在として扱う必要がある。また全員の目的を達成する過程においても、理想に近いものを人類全体で本気で話し合う必要があるでしょう、そうでなければ自分と本質的に同じような存在である人が望まない苦しみを感じることもあります、具体的に、存在という点において、どんな人にも存在しているという点で違いはないです、DNAが多少違う程度の何も知らないまま生まれて来た存在です。

今の世界の状況は、それぞれの生れてきた環境、生れた国、親の経済力などによって格差が生まれています、全体の共通の目的が明確ではないのが理由の1つと考えられます。

共通の目的を決めない場合、様々な方向に目的が向くために衝突したり、拡散するため争いで苦しむ人が増えたり、それぞれの目的の方向に力が拡散することが考えられます。

共通の目的を決めることが出来れば、目的の違いによる争いがなくなり、目的がさまざまな方向に拡散することも少ないと考えられます。

宇宙の本質、真理

宇宙の本質、真理についてですが、結論では私の考えでは、ヒューエベレットの多元宇宙論同様の理論になりました、

例えば無限に広がるものがあるとした場合、宇宙の構造は無限に広がっている、しかし中心にも無限に広がっている、無限の可能性を考える場合、無限であるからまだ拡大を続けている、また現実が有である現実に時間や死といったような有限のものがある、宇宙が無限である場合も有限とは矛盾はしない、それは無限と有限は共存できるからだ、無限の中には有限は共存できる為に矛盾はしない、現実が有限である理由もある意味そのようなことが理由だとされる、有限の物、リンゴの数があるように、現実に死があるようにある意味現実には有限が見られるためだ。

正しい倫理とは

世界を見ると倫理を確立できていないもしくは改善の余地があると思われる、倫理とは非常に重要で、正しい倫理観を伴わなければ、倫理観を適切にするかどうかで今後苦しむ人が増えるか減るかが分かれる、国家の中でも不満が蔓延し、そのような国家は国内でも何らかの争いがおこると思われる。

正しい倫理とは、本質的には個人個人により異なると考えられる、しかし共通の倫理観を持つことが必要なのは、倫理観が異なる者同士の間には、倫理観の違いからの対立や争いが起こる恐れがあり、完璧な共通する倫理を言語にすることは出来ないだろう、しかしある程度の倫理観を製作する必要はあると思われる、具体的に、

私の考える正しい倫理とは痛みと、目的を達成しようとすることを妨害すること、は良くないとされる、痛みがいけない理由は、痛みを感じたことのある人ならわかると思うが、人の感じる痛みとは壮絶で耐え難い感じるべきではない感覚だと思われる、痛みを他人に与えたとしても神に罰せられることはないだろうが、個人個人が痛みを与えることがどれだけ良くないことかを理解し、個人が妥協することなく守る必要がある。

法律は有効的な手段であるとは思う、

私にできることは考えることであり、考えることだけが人類全体に対して何らかの利益を生み出せる可能性があると思ったからだ、だから文字を書き続けるし、いい未来があると信じている、

善悪の本質とは

いい人間と悪い人間は単に知能の差ではないだろうか

いい人間と悪い人間がいるとされているが、良い人間とは単に知能レベルが高いだけではないだろうか、他の生物を見ればわかりやすいが、良い生物が知能が高いわけではなく、知能が高い生物が悪いというわけではないが、知能が低い生物が

現在知能が高い人間や、理想や、欲求が他人を脅かすものではなかったり、争いを好まない生物が生き残っていると考えられる、

いい悪いを判断するから苦しみが生まれる、判断理解認識によって苦しみが生まれる

い

悟りとは

私はいない私を探そうとしたとき見ているものを俯瞰しているのが私であるために私というものを探す果てに私を探そうとしたのだが私は結局見つけることは出来なかった、何故なら私とは知覚したものを俯瞰している存在であるから私を知覚しているとき知覚している私は私ではなく私はそれを俯瞰している存在である、つまり存在を知覚しているとき私はいる　知覚していないとき私はいない　のかな？

悟りを開いた７人に共通していることは無我と言っていることである、私がいないということに気づき私はいない、ことに気が付き私はいないけれど知覚している生体は痛みを感じている目的もあるならばこの生体の目的は果たしてあげよう、しかしこの世界には私だけではなくたくさんの生体が存在する、それら生体にも私と同じように痛みや目的があると考えられる、私はいない、私と同じものは素粒子から作ることが出来私より優れたものも作り出すことは出来る、私を特別視するのはおかしい、他の生体の痛みや目的も私の知覚している生体と同じ対応をすべきだ、私とは一体何なのだろうか私に

私にわかるのは私の知っていることなどたかが知れているということだろう、

神とは、不確定性原理により、1980年代には完璧な神というのは存在しないということが示されました、しかし不確定性原理も内包した無限の広がりを内包した何かを神というのではないだろうか

この疑問に関して答え出せる問ではないだろう、しかし私たちのやるべきことは決まっている、

それは、人間は、がさまざまな、環境で考え抜いてきた法華経は素晴らしい経典である、法華経の最後には全ての存在が悟りを開き、全てがつながった状態を示している、

全てが目的を達成し全てが幸せになることを目的としてよりいい社会を作りあげるようにすればいいのではないだろうか、しかし今の物理法則では全員が目的を達成することなど叶わないだろう、だから物理法則を変える必要がある、物理法則を変えて、誰もが目的を達成できるようにして、誰でも幸せになれることを目指せばよいのではないだろうか、

しかし問題がある、それは人の目的は変わるということだ、それに人がその抱いた目的が個体にとってその時の状況によって正しいと言えるが、が状況が変化するごとに目的も変化しうる可能性があるということだ、目的とは、私自身も気づけないが何らかの目的があるもしくは捜索途中であるため変化しているのではないだろうか、個人としての様々な目的を現在人類は持っているだろうが、その様々な目的の違いが、結果として資本主義社会を成り立たせ、格差が大きく、苦しみがあまりに多すぎるのではないだろうか、現実問題としてこの現実で目的を叶えることは目的の不一致により衝突したり、競争激化により格差が大きくなったり、共通の目的を持った場合、

私たちと倫理観の違う仮に不謹慎だと思いますが、悪魔や鬼がいたとします、この場合、私たち人間と目的の違いによる対立が起こるでしょう、また、仮に宇宙人を発見し目的の不一致、倫理の違いが見られた場合はどうでしょうか、この場合、目的や倫理観の違いにより、悪いものとはわからず、悪いものとしないために人類に多大な被害がもたらされることがあるとします、この場合人類は生存のため反抗するでしょう、人類の立場が低い場合、相手が中立や協力を望まない限り、争いが生れ大きな被害がもたらされるでしょう、たとえ目的の違う個体がいたとしてその個体に私たちと同様またはそれ以上の痛みがあった場合はどうでしょうか、私たちが目的の違う個体をたとえ被害がもたらされるような状況があるのであれば有るべきではないものなのではないでしょうか、別の状況で仮に表す場合それは宇宙の物理法則もしくは創造したなにかが私たち生物を意図せず苦しめているのと同様のことを私たち人類もしてしまう可能性してしまっている可能性があるのではないでしょうか、これら個体全てに共通している、目的と痛みを内包して矛盾を含みながらも、個体同士の目的を叶えるのが良いのではないでしょうか、これには理由があります、共通もしくは平等でなければもしくはこのレベルにおいても生体個体は多少の妥協を許して共通もしくは平等を選ぶのであれば、宇宙で争いは、起きないのではないでしょうか、人間は悪いわけではないと思います、何故なら、知識が有れば目的と痛みのあるものは、自分と平等もしくは共通であることで幸せ、倫理的目的の違いで平等、共通が気に入らない場合であっても全てが理解することが自身の身が痛いことであれ、それぞれを含めた共通、平等な目的を一つ決めて、完璧でなくとも出来る限る共通、平等な目的を設定することで、全てが一つの目的を追える、具体的は、矛盾を多少伴いますが、それぞれすべての個の目的を叶えることを物理法則内で可能に出来るようにすることもしくは、物理法則外で可能に出来ることを目的とすればよいのではないでしょうか、

どちらせよ目的の違う者同士の場合、具体例を上げると今の国家同士の目的が違えば今は中立をしていてもいずれ目的の違いによる衝突や、力の分散、

宇宙の物理法則

宇宙の今の物理法則でそれぞれが目的を達成することは困難であり、共通する目的を決めることが必要だと考えられます。

具体的に、私たちには当たり前のことと思いますが、この宇宙の物理法則では、例えばスポーツで誰かが勝てば誰かが負けます、皆1番になりたいと思いますが皆が同様に1位になることは出来ません、富裕層がいれば貧困層もいます、しかしこの勝負するという考えでは人間内で勝ち負けがあるために人類内で競争が激化します、誰かが支配する場合、誰かが不満を感じるためこのような国家は内戦が起こるでしょう、また国家同士でも目的の違いや、国家の一方が一方を支配することがあるでしょう。

そのため、共通する目的を決めることが大切だと考えらえます、共通の目的があるために協力関係も築きやすいでしょう。

また共通目的のない世界の状況を見ると、富裕層がいる一方で、貧困層がいて、富裕層はお金を分け合えばいいのですが、分け合わけあえない構造になっていることがあります、共通目的を決めれば、共通の目的を達成するため、資本主義社会でも投資する金額が増えることが考えられます、共通する目的の重要度が高ければ富裕層もお金を回してくれることが考えられます。

精神病とは

うつ病の場合はセロトニンレベルが低下することでうつ状態になるとされている、

執着や、心気症(ヒポコンドリー性基調)を治す方法、執着してしまうことにより、病気にまで発展してしまうことがあります、これは悪いというわけではなく、執着してしまうほど大切にしたいことや、それだけ強い思いがあるということであるからだ、しかし、執着に関して正しい対策法を知らなければ、生活が苦しくなったり、病気にまで発展することがあり得る、対処法を紹介しよう、対処法は大きく分けて３種類ある、一つ目が、恐怖を感じたときに、恐怖した事象が起こったうえで何とかするという、逃げようとはせず、策を講じようとするのではなくそのまま受けてみて、そのうえで目的を達成するといったような思考法が有効である。

２つ目は執着した対象はそれほど執着にたる存在なんだろうか、具体的に言えば、執着の対象を分解してみれば、どんな高級なものでも、どんな天才でも才能でも素粒子の集まりであり、存在という意味でも同じである、つまり、執着の対象と同じものは作ることが可能で、執着の対象より、優れたものも作ることが可能なのだ、そのようなものに執着する必要はあるのだろうか、執着しそうになった時この思考法は有効である。

３つ目は認知行動療法です、うつ状態や、周りの世界が不気味に感じたり、精神状況が苦しいときは、自分自身の周囲に抱く観念、認知によって周囲が不気味に見えたり、自分自身の苦しみや不安ぐわいが自身が周囲をポジティブに認知するかネガティブに認知するかの差でかなり変わることが多いと考えられる、例えば、脳内にマイナスな観念が常に浮かんでいるときもあれば、マイナスな感情や感覚を想起してしまうことがあれば、ポジティブな観念や、感情、感覚を想起する場合もある、その割合によってかなり変わると思われる、鬱病や日々のストレスはこの任地によってかなり変わることが私の体感ではある、引っ越しをするときや新しいことを始めるときはポジティブで肯定的な気持ちで臨むのがよいと考えられる、逆にネガティブな感情や思いが強いのであれば、ポジティブな想起を意識的に増やすことで、新しいことにも適応できると考えられる。

また認知行動療法には、ステップが存在しており、具体的には、

認知行動療法にはたくさんの種類がありますが、私がおすすめするのは森田療法です、

4つ目は薬物療法です、薬物療法には抵抗がある人が多いでしょうが、これから説明する情報を知ることで有効的に使用することが出来るでしょう、

主にセロトニン不足鬱病、ドーパミン不足パーキンソン病、アドレナリン不足

脳内のセロトニンレベルを上げることで、DNAが作動することによって鬱病が改善したりする、

鬱病の

z

目次

題名をまとめる

結論やまとめを１００００文字で記述する

それに基づいた解説を３００００文字を分かりやすく書く

具体的な例や、現実の論文などを取り入れる＋５００文字

最後にあらためて世界に問いかける１０００文字

合計４００００文字以上を最短で達成する。

一日でやることはこの本を書くことだけ。

本を書き上げるためにトレーニング　睡眠　食事　サプリメント　仕事を全力でやる　一日の悩みや考え事苦しい感覚を出来るだけ減らす、しかし意思は損なわないようにトレーニングする　以上を実践する。

人の最終目的は一人の人の目的をそいつ自身が自分一人が頂点に立ちすべてを叶えて終わりというわけではない

人の最終目的は自分だけではなく他の人すべてが目的を達成して幸せになってこそだ、しかし宇宙の物理法則では一人が例えば世界一位になれば他のものは世界一位にはなれない、だから物理法則の違うすべてが目的を達成できる世界を作るのだ、またこれらは物理的に作れるから作るのではない、作りたいと思うからこそ作るのだ、それを作りすべてが目的を達成し幸せになるのが目的だならばこの世界のあり方は間違っている例えば

今は世界は個人の目的のために反映しそのために、誰かが裕福になり、誰かが貧困になり競争が生まれる、そして、北朝鮮などはその競争のために、国民が苦しんでいる他の貧困な国もそうだ、豊かな国の中にもそうして貧困で苦しんでいる人たちがいる、つまりは現在の状況は間違っている

ならどうすればいいのかそれは目的があるのだからそのために最適な方法にすればいいのだ、具体的に国を一つにして、そのうえで、目的を達成する最中においても他の国民をみな裕福にできる方法を作るのだ、そして誰が国を独占するわけでもない一番いい方法に国を作り替えるＡＩも使う一番いい方法で国を整備し7i

各分野でそれをやりたいとおもうものたちによってあらゆる方向から新しい成果がでてそれを取り入れながらまた進化していく目指すものはただみんなが目的を達成できて笑いあえる幸せであったかい場所をつくること、これならば国を一つにできそのうえでその過程さえも良いものにできれば必ず人類はもっと良いほうに進めるはずだ

人はおそらくその果てに最高の目的を達成したとしてもそれでも止まらずまだまだ先を目指すだろう、そして最高の作品を作り続けるそれが人類だ我々は必ず最高の無限に続く最高の未来を創るのだ、

同じものとそれ以上のものがつくれるということ

それが存在するのならそれと同じものそれ以上のものそれを超越するものが作れるということこれは汎用性が高い

特に精神病や悩み脳との葛藤の際に使える考え方であり、科学的物理的に考えても使える考えである、例えば最高の作品を見たとき地球と同じものも作ることができるし私と同じものも作ることができる、また私以上のものも作ることができる、

つまり私はほかのだれかにも作ることが可能であるし、私は私に固執することはないが、私の苦しみや葛藤は私がいやだと思うから与えるのは当然神ではなく神がいなかろうが私自身が存在を許すわけにはいかないほどのことだ、必ず阻止すべき

宇宙の始まりかもしくはいつかの時点ですべてが存在するだろう、

倫理について、神は居るかいないかだが神がいないとは言えない、すべてが存在するという私のかんがえの上では神も存在するだろう、しかし現状の世界の状況を見たとき明らかな酷い苦しみがある、しかしこの苦しみがなければ痛みがなければ快感や有難さ、何も感じないのではないだろうか、仏教にもある、キリストや、西田幾多郎など複数が罪人が苦しみ継ぐを償うその姿も美しいというようなことを言っていました。

に神が間違っている、もしくは神でさえ現状の状況を変化させることが出来ない可能性。若しくは単に、望まない苦しみさえも必要なのだろうか、世界には主観と客観をこえた、イデアともいうべき、私たちの脳を通さない、真の実態があるのだろうと考えらえる、その様な真の実在の世界にしか真の善悪はないのかもしれない。

どちらにせよ確かなことは、私は以前に非常に苦しんだ際その状況を望まなかった状況があった、その時その状況よりいい状況を作り出すことができたのにそれをしなかった、それはなぜか

罪人は裁かれるのかについて、罪人はそいつ自体がなしたいことをなす中で人には人はさばけないし、人が今までやってきたことはその時懸命に生きた人たちがいたのだからそれをなかったことにもできない、

人間は無意識に人を気づつけていることがよくあります、

他には何があるか考えろ、本をだすそして多くに人に広め世界を最速で動かし正しい倫理観で帰る必要があるそのためにお前の賢い頭は使る走るのだ

苦しみを直視する行動できないでいるときの感情と感覚その時の嫌悪の強さに視点を充てるんだ、そうすれば大したことがないということがわかるだろう、たとえトレーニング中の最後の追い込みの時で会っても行動を抑制しようとしている嫌悪に視点を当てれば大した嫌悪はなくこの程度正直笑いながらでも超えれることに気が付くだろう、筋トレの時を思い出せあの時選択したとき大した嫌悪はなかったあの程度ならたやすく超えれる、勉強もそうだ、あの程度の嫌悪ならたやすく超えることができる、たやすく超えれるのだ、普段のように力を入れていてはだめだ、力を入れる場所が違う、見ている場所がそこではない、別の場所だ、これは情熱を燃やして見つけることができたが、違う視点と力の入れ場所を考えることで進化できる。

最高の高率で進化できるそうだ必ず進化できる

私は精神病だったと思う私がなぜここで現在生きているのかなぜ生きれているのかを語ろうすべてはすべての人が目的を達成できるために

考えろ、世界を変える方法を何をすればいいのかを、考えろ信じろ魂を自分を考えろ。考えろ何ができるのか考えろお前ならできる。

本をあと1っ花月以内に販売する販売まで持っていく、

重要なことは嘘をつかずすべてを出し尽くす

そして他の人との違いが必要だということ　何ができる時間は限られている、できる、今できることをやるんだ。一日あれば十分だ、考えろ、何ができるすべてが使えるはずだ、今動け何がいる

すべてを書けばいい俺の名前でいい、名前もいずれバレるすべてを誇れる男になｒ、れ名前を知られてなおも衰えずその恐怖やその凌辱にさえまだまださきほこりそれが日下真旗だ。。。。魂を燃やせおれがしね

おれが魂尾も痩せないで何が世界を救えるだふざけるな

本を書く、

これを書いたのは世界のすべてが目的を達成でき幸せであり、あったかい場所を作りたいと思ったからだ、世界は間違っており、私はその世界を変えたい、苦しみが一つとたりともあってはならないのだ、私の魂を持って私の全存在をもってこの人生でなしえる。

まず世界の目的を一つにする必要がある、私たちは、ただ自身だけの目的を達成しただけでそれでいいのか、それで終わりでいいのか、違う、私たちはすべての目的を達成し、みんなが笑いあえて幸せな場所を作るのが目的である。

ならば今の世界を見たときおのおのの個人が自身の目的を小さな目的を達成するため、国の中でさえ苦しむ状態になっている、一部が独占し、その独占したもの全体を目的のために使えれば今より世界が必ず良くなる。

世界に目を回せば救って見せる　世界では北朝鮮、中国、あらゆる国で国が目的を達成するためにあらゆる苦しみが生まれている。

世界の今のあり方は確実に間違っているもっといい方法があるんだ。おれらに命をつないでくれた、俺らが人類が生まれたからには最高の形で終わらせようじゃないか、俺らにはそれができる、やりたいんだ、やりたいから叶えるんだ、叶えたいから叶えるんだ。

同じものとそれ以上のものが作れる、どんなものであれ存在しようが存在しまいがおなじものそれ以上のものが作れるこれは執着をするのを解除する際にも人間がさらに進化するにも重要なのだ

意思を燃やせ、判断のとき嫌悪感に集中したときそれはさほど強くないその程度の嫌悪感で止められると思うなテクニックではないすべては情熱から生まれる

今日もがんばるぞ情熱を燃やすんだすべてのことにそれができればすべてうまくいく

はしれ。

小説を書くんだ

何ができるいまからできることをまとめる

本を販売するそれだけではだめだ

知識を出すのはアインシュタインや科学者と同じだ、論文で出して有名にはなるものの。

現実に集中する、一度しかチャンスはなく、正解を探してはだめだ、考えずに行動してから考えるのもだめだ、これは最悪だ、ただ行動するだけなら昔から生物が無限に動いてきたそれではだめなのだ、考えるのだ知識が進化の過程において重要だが、それでいて行動できなければ意味がない

昔との俺の差は、ニコラ・テスラもラマぬじゃくも言っていたが、ただ単純に考えていてもだめだ、ピントを変える、考えれる周波数に変えるのだ、その周波数では知識が無限にわいてくる

脳はいまだに感情の法衣感覚のほうに真実があると俺を誘導してくる、そのたびに多大な時間がとられているがそちらにも真実はあるのだと思う、とにかく人ととは違う視点のピントの周波すうから考え続けなければならない、それが絶対的に必要だ。

違う周波数があるのだ。

昔との差は、現実の感覚脳が与えてくる感覚を抹消面から感じそれに満喫していたというところだ、しかし幼少期、ただ感情に流されるままに、自分自身というものがそもそもわたしからなんのアクションもしなかったために存在しなかったといっていい、

世界をよくすることを考えるのだ、分かるか世界にサービスをする、世界に価値をもたらすから見返りが来るのだ、世界にサービスをすることを考えるのだ、

現実、をパターン　現実を直視してそこで現実をはっきり見て予測を立てる、この動作

現実を直視して、その周りも直視して、そこで脳がすべてやってくれているから、そのデリーとを押す前にそのままでいいのかもっと改善したいか、をこちらから指示をする、しかしその時の指示も自分の体に適応されている、体には意味はない、であれば判断も、意思を使うときもそれを行うのは感情による選択がある、つまり、私が現れるのは意思もすべて脳が見せているならば、私を私と思うこの感覚も脳が見せており、であれば私はいない、何かを感じるということは私ではないのだから、私はいない、

私はいない、

現実を直視して、ありのままを抵抗もせず受け入れる、その時感じた感覚を直視する、

直視して推論を立てる、この行動をして期待の成果が生まれるか、を考えるそれが出来ないと考えられれば別の確実な手を考えて、それを確実にできるのか再度試行錯誤する、それを決定的に確実にできると考えれたときデリーとを押す、そしてそれが正しくできたのか再度現実でも思考でも感覚でも直視する。

現実に本を出す際、本気でやれ、嫌悪感は多少だこれなら超えれると思え、

アインシュタインはその最高の公式でその後も公開しなければ成功をおさめれていたなのになぜ公開したのか

１、自分の公式は論理の果てに構築できた思考であり、であればあとから誰かがすぐにでも発見するだろう、今の自分がなにか世界を変えれる発明ができるだろうか、起業し、そこで新しいテクノロジーを作成したとき、そのテクノロジーを分解すれば公式が見つかりいずれにせよ、その公式を公開するのは自分ではなくなる、

最高のテクノロジーを公開するのは公式を自分が見つけれたことにできて、

その後の発展は自分一人でするより、世界と協力したほうがいい、これを公開した原理には世界が共通の目的を達成するという思考があったのだ、その思考があったから公開し、公開したことで世界は発展し豊かになったアインシュタインは偉大なことを成し遂げたのだ、最後アインシュタインは論理ではなく博愛を記したのだ。偉大だ。

私に何が出来るだろうか、考えろ。

世界は共通の目的を追いかけるべきであり私は自分一人ではなく世界が発展する道を選んだすべては皆で共通の目的を達成するために、これらを用意て新しいものを自分が生み出し、世界は豊かになるだろうが、その過程で

俺のベースは自分が独占的に新しい技術を開発し、その技術で新しい研究をして新しいものを作成することではないだろう。自分一人幸せでも幸せではない。このベースにあるのは、

しかしこれにこだわる限りせかいから争いは消えず、誰かが頂点をとると誰かが頂点を取り返す、誰かが成功を収めれば誰かが成功を取り返すそのジレンマ、私たちは私たち自身も含めてすべてを超えて進化して新し、ものを作り出すという考えであるのだが、その過程として争いは絶えず、共通モデルとして、どんな状況でもすべてを超えて新しいものが作れるという公式が必要だ、このモデルの下でみんなが協力することができる。

みんなが共通の目的を追えるようにしなくてはならない、考えろ、今日つの目的には共通のこたえた必要だ、何が出来る、考えろ

世界モデルをもっと飛躍させろ、要するにすべての奴の目的が達成できればすべてが解決するのだ、すべてが解決するのなら、何が出来るだろうか、すべての目的を達成できるのならば。何が出来るだろうか

自分が人間が自分個人の目的を達成してそれで終わる個体なのかそれとも自分だけではないほかのすべての目的を達成して終わるのかそれはどちらがいいのだろうか。自分だけ幸せになっても意味はない。みんなが幸せでなければ意味がないのだから。

これを公開したのはみんなを幸せにしたかったからだ、俺が独占的に保持してもいいが

それよりもっと俺は上を目指す、公開しなかったとしてどうなる、公開せずに自分一人で研究してはるかな高みに行けるかもしれないが、皆公開しようとはしない、それは皆金息を出ることができず苦しんでいるからに相違な人のエゴのせいでもあり、人の弱さのせいでもあるが、私が行動するのには、

公開しなかった時でその果てを極めた時を超えて見せるその果てを超えて見せるのだ、公開した状態でその果てを超えてもっと進化してやる、どっちにしても俺の目的は宇宙各国のすべてを幸せにすることだ俺は知られなくても最悪いい、

しかし、おれがすべてを上からコントロールするのも捨てがたいそれはそれが一番皆を幸せにできるかもしれないと考えたからだ、他に何がある。

公開しなかった　もう探さないその状況にも持って行ってもいいが最終的にはそれよりいいものを私が自ら作って見せる。

最高の作品を作ろう長く書く必要はない、

人は世界モデルが違えば苦しむ人が増えてしまう、世界モデルを正しいものにしないとみんなが苦しんでしまう、これを書くのも苦しかっただけど一歩ずつ書いている。

走るよ僕は止まるわけにはいかない確実に成功させて見せる。

考えろ時間もない

00p-----

できることはなんだ世界を今から変革名させる

今日が5月７日６月７日までが期限だ、これ以上だと詰む今まで皆がつないでくれた魂をなくすことになる無してたまるものか必ずじつげんせよ

考えろ

できる

今の世界は間違えているそれは世界が共通の目的を追っていないからだ、共通の目的を追う必要がある、考えろ

世界は現在個人の目的を個人が達成することで構成されている、要するに、このような思考法では世界は、個人と個人は対立する争いが生まれ戦争に発展し、苦しむ人が無限に増えてしまう、

世界で共通の目的を追う必要があり、その過程が大切だ、生まれた命を無駄にせず苦しみが最小限で抑えれるようにし、できるだけ多くの人を救う必要がある。

この世界の構造は間違っているもっといい方法がある。俺の中に催促の速さを生み出すものがあるということに気が付いたおれならできるのだとしったそのきょうふ不安の

何が出来る公式は出来上がった今から絶対寝ないできることをやるんだ、朝まで走る、。人生が長すぎるから勘違いするんだ、人生はあと一時間しかない常にそうだ、

必死でやるよ、

答えがある、目指すもの個体にしろ集団にしろ目指すものと　目指すことの２つがある

個体　問い(思い)　　　　　　　答え

個体　目指すもの(思い)　　　　　答え

疑問を疑問だと感じるのも思い

思い　問い　疑問　の共通することは個人から出ることであり、　論理的プロセスと感情の調律を取る必要がある。

論理はゲーデルの不完全定理によってある程度強力な論理体系においては必ず心理の決定不能な命題が存在することが照明されている。

人間の論理的考え方にも認知的人間の認知的限界が存在する、人間の思考や判断には感情や偏見や誤った前提条件などが含まれることがあり　論理的欠損が生じる　そのため完全に論理的な判断や考えを形成することは、現実的に困難であるとされています。

共通するのは、人には目的がある、そしてその個人個人全員の目的を達成できればいいということ、

1 個体→目的、幸せになりたい(思い)　これだけは共通する

2

つまり、個人の目的が叶う　そのまた別の個人の目的が叶う

現在みな個人の目的を個人で達成しようとしている、しかし個人が自分だけでなく皆の目的を達成する考えならば達成確率は高まる。

いやこのゲームは個人が個人の目的を達成するだけでは意味がない、全員が目的を達成しなくてはいけない。

その人が必ず目的を達成でき、その達成した目的がその人それぞれが選べ、その人それぞれにとって望む形で叶い、不条理がなく、幸せになれるように、

まとめるとその人それぞれが望むようになるように。

世界の間違っている点

1　共通する目的がない、、

2　倫理が整っていない　望まない苦しみがある　チャンスが不平等

＋8　宗教で苦しんでいる人や、真理を探している人へ、精神病で苦しんでいる人へ

同じものそれ以上のもの

世界をどのようにすればいいのか、世界は圧倒的に苦しんでいる、どうすればいい、今は神と戦っているあらゆる不幸が降り注ぐだろうが負けるなすべてを使いこなせでなければただ一つのミスで負けて死ぬ

まず、痛みというものはあってはならない、昔苦しい経験をしたからかもしれないが痛みはあるべきではない、あってはならない。

２時間あれば十分だあきらめるな希望を持て２０分で十分だすべてを完成させれる。

記憶力の本を最近読んでいる、私は一日で量をこなすことを今までやってきた、そのために乱雑になるところや、読まない場所や、読んでいても理解までできていない、ただ読んでいるだけのようなもしくは脳内で音声で再生していない程度の読書しかしていないこともあり、そのような読書をしてすべての分野を学びつくしたとしても抜けている部分がたくさんあるのは分かる、しかし丁寧にやりすぎても時間が足りない、ここについて自分でルールを作る必要がある、

俺の違和感は間違えていない、俺がかすかに感じていることは間違えではない、それは大切な気づきである場合が本当に多いと後になって気づくことが多い、見て見ぬふりをせず、気になったときに深入りをするようにしたい。

構造に目を向けるんだ、私の脳内では仕組みが分かっていないことが多い、具体例　記憶の仕組みを今言語化できない、思考しても分かるかどうかわからないほどに不確かである

しかし出来たというときは今まではまぐれであることが多く方程式が法則がそこに含まれていることが分からなかった気づいていなくても目的は達成できるのだと感じたが、それは運任せ不確かであり、確実な方法ではない、論理の構造と論理を繋ぐんだ全てを繋ぎさえすればそこからパターンや公式方程式が見えてくるのではないだろうか、

論理の構成要素をつなぎ合わせろ

私存在とは私自身の存在について私は私と同じ存在は製作可能であり、

例えば人類の全員が同じだけ働き人類全員の意見が反映されるように多数決だけではない、論理的に倫理的に適切であるものを製作しようとした場合、それはどうなるだろうか、同じ存在である個どうしを俯瞰してみたとき個の思いは達成してあげる必要があるが、それはどの個に対しても同様である、残るのは共通の知識と倫理観をまとめ上げて１つの選択を下す、それは私たちの体を見ているようであり、今は私たちの体は内部に矛盾や、理不尽、不条理を抱えているが私たちは共通する公式方程式、私たちが求めているものとは何だろうか、助けたい人がいる、自分自身も助けたいだけどそれに執着はしない、これらを超える存在になりたい、しかしそれすらも超えた存在になりたい、これを無限に繰り返し、今考えれる最適解を全員で導き出し、それを現実で叶えていく、またそれをこえた理論を作り出し、またそれを超えていく理論を作り出していく、この無限の繰り返し、望むように出来る、ここで１つ可能性世界の話をしよう、可能性世界とは、ヒューエベレットの理論と共通しているのだが、可能性のすべてが実際に存在しうる、しかしどれを現実にするのかは私たちで多少なりとも可能性のどれを可能にするかは可能なことだ、

無限の抽象度で考えた場合は、

無限に続き可能性世界のより良いもの痛みがないものを選択するためには、可能性世界があり、良い選択をする必要がある、可能性はまだ可能性である、どれを可能にするのか、また可能性を超えた抽象度で考えることも出来るだろう、

痛みはあってはならない、苦しみはあってはならない、このレベルの思考になれば痛みが分かってくるだろう、全員が目的を達成する必要があるが、自分自身のことについて特別視してしまうことはあるでしょう、私自身も特別視してしまっていることはあります、しかし、私と同じ存在は作成可能であり、存在という意味で同等であり、痛みがある、痛みが理不尽で有るべきものではないことは痛みを体験したことがある人ならばわかるでしょう、少し負荷をかけるが大切だと思いました、知ったからには考えうる理想どうりにしようではないですか、もっといい策を考えれるはずです、

理想的には出来るのではないだろうか。理想どうりには出来るのではないだろうか

考え続けるんだそれしかないんだ、それを続ける果てに願いが叶うことを信じて、このタイピングの一文字一文字が未来に希望をつなぐ一歩一歩なのだと大丈夫だよ、考え続けろ行動し続けろ思考にあらがえるのは行動である、行動しさえすれば前に進むことは出来る、

行動を続けるんだ、

構成は練れただろう、全員一致の目的を決めてそれに改善を繰り返す、その繰り返し、自身で成功することだろうか、違う、よりよくする、よりよくできるのならばよりよくするのだ、その無限の繰り返しで世界が少しでも良くなればいい、考えろ考え続けろ、それを繰り返すことでなにかが変わると信じて、書き続けろ、

やってやる、理想どうりに出来ずとも、現実ですべて理想どうりに私の場合は出来なかった、しかしだからといって何でもよいわけではない、現実で考えうる理想に近い方法を実行し続けることは必要だと考えます、

私は自身の理想に従い生きてきましたが、

これらは科学的な根拠はありません、

では、科学とは何でしょうか。

:::::

参考文献　何々辞書から引用

これまでの話をまとめて私たちに出来ることはあるのでしょうか

本質的な私自体は見つけることは出来なかったが、生体としての私には痛みや、目的があり、それら生体の目的は達成させてあげたい、高いところから見ると、存在として他人と私には変わりはない、ならば私だけではなく他人も同様に目的を達成させてあげたい、

宇宙人がいた場合倫理観や、理想や、目的が違う場合もあるでしょう、人間でさえ倫理観、価値観の違いが見られます、では宇宙人とはどう関わればいいのでしょうか、宇宙人の倫理観が人間と異なろうと、存在に目的(望み)があるようであれば叶えてあげるべきであり、痛み(望まないこと)があるようであれば、：

結論から言うと、目的(望み)と痛み(望まないこと)は共通しています、

全体の構造を練る、コンセプトは、現状の理解と何を目的に設定するべきか、そのためには何が必要か、世界に問いかけて、この考えをさらに発展させて、よりいいものにして、それを世界全体で目指すことにより世界を一つにすることが出来るのではないだろうか、現状の世界の状態は、共通の目的ではなく個人目的達成とそのための競争によって出来ているために内部で苦しみや、争いが伴い、また力が分散する、大切な分野に注力すべきで、単純労働はみんなが同じ負荷で担うほうが良いだろう、

意識とは、

アインシュタインはイメージで考えている。

数学者のアダマールは本気で考えているときには脳内から言語は消えていると言っている、

技術が進化している現状では、科学的に可能なことは広がっているが、方向性はまだ明確ではない、共通する目的を決めるべきだと思います、

体を慣らす必要がある、

私には到底勝てない、飢餓で死んだ人がいるが私には到底出来ない尊敬の念しかない、痛みや理不尽がないと学べないことも多かったけれど、人生に優劣をつけるものでもつけれるものでもないが、

現実は無慈悲な面があり、行動をどれだけしてもまるで、風で揺らぐ葉のように、水面が揺らぐように、困難だ本当に困難がすぎる、

苦しみを与えてくれるこれほどのうれしいことはない。愛してるよもも。。

本当の本番 20240413これがほですよ；

言葉と意味はつながっている　、気息的なパター構造を見るけるほうが早いのでは、はつながっている

この文章は私、日下真旗が記述している、私は2000年７月３日生まれ、血液型Ｂ型、広島県福山市神辺町で生まれた、小学校は福山市新市町常金丸小学校で学んだ。

世界の現在の状況は明らかに間違っている、根本的な原因は共通目的の不足が考えられる、具体的に最終目的を例えば、人類という枠組みで言えば人類の全員が目的を達成するといったような1人1人が全体のことを自分と同様の存在として扱う必要がある。また全体の目的を達成する過程においても、理想に近いものを人類全体で本気で話し合う必要がある、そうでなければ自分と本質的に同じような存在である人が望まない苦しみを感じることもあるでしょう、具体的に、存在という点において、どんな人にも存在しているという点で違いはないです、DNAが多少違う程度の何も知らないまま生まれて来た存在です。

今の世界の状況は、それぞれの生れてきた環境、生れた国、親の経済力などによって格差が生まれている、

共通の目的を追った場合は、皆が共通の目的のために協力する関係であるために高めあうような関係になると思います、

共通の目的を追う場合はそれぞれの個人が目的のために価値を提供できるために、

共通の目的を決めなければ、様々な方向に目的が向くために衝突したり、拡散するため争いで苦しむ人が増えたり、それぞれの目的の方向に力が拡散することが考えられます。

共通の目的を決めることが出来れば、目的の違いによる争いがなくなり、目的がさまざまな方向に拡散することも少ないと考えられます。

私たちには当たり前のことと思いますが、この宇宙の物理法則では、例えばスポーツで誰かが勝てば誰かが負けます、皆1番になりたいと思いますが皆が同様に1位になることは出来ません、富裕層がいれば貧困になるものもいます、しかしこの勝負するという考えでは人間内で勝ち負けがあるために人類内で競争が激化します、誰かが支配すると誰かが不満を感じるためこのような国家は内戦が起こるでしょう、また国家同士でも目的の違いや、国家同士で支配する

この状況を生んだ原因は何でしょうか、それは人それぞれが自身だけの目的を追ってしまったのが1つ考えられます、それぞれがそれぞれの目的を達成しようとした場合、例えば、誰かが

世界の状況を見ると、競争社会になっており、誰かが富裕層がいる一方で、貧困層がいて、富裕層は富を分け合えばいいのに、分け合わず、どこまでも個人の目的を追いかけて

人たちはの最終目的は一人の人の目的をそいつ自身が自分一人が頂点に立ちすべてを叶えて終わりというわけではない

人の最終目的は自分だけではなく他の人すべてが目的を達成して幸せになってこそだ、しかしこの宇宙の現在の物理法則では一人が例えば世界一位になれば他のものは世界一位にはなれない、だから物理法則の違うすべてが目的を達成できる世界を作るのだ、またこれらは物理的に作れるから作るのではない、作りたいと思うからこそ作るのだ、それを作りすべてが目的を達成し幸せになるのが目的だならばこの世界のあり方は間違っている例えば

今は世界は個人の目的のために反映しそのために、誰かが裕福になり、誰かが貧困になり競争が生まれる、そして、北朝鮮などはその競争のために、国民が苦しんでいる他の貧困な国もそうだ、豊かな国の中にもそうして貧困で苦しんでいる人たちがいる、つまりは現在の状況は間違っている

ならどうすればいいのかそれは目的があるのだからそのために最適な方法にすればいいのだ、具体的に国を一つにして、そのうえで、目的を達成する最中においても他の国民をみな裕福にできる方法を作るのだ、そして誰が国を独占するわけでもない一番いい方法に国を作り替えるＡＩも使う一番いい方法で国を整備し7i

各分野でそれをやりたいとおもうものたちによってあらゆる方向から新しい成果がでてそれを取り入れながらまた進化していく目指すものはただみんなが目的を達成できて笑いあえる幸せであったかい場所をつくること、これならば国を一つにできそのうえでその過程さえも良いものにできれば必ず人類はもっと良いほうに進めるはずだ

人はおそらくその果てに最高の目的を達成したとしてもそれでも止まらずまだまだ先を目指すだろう、そして最高の作品を作り続けるそれが人類だ我々は必ず最高の無限に続く最高の未来を創るのだ、

同じものとそれ以上のものがつくれるということ

それが存在するのならそれと同じものそれ以上のものそれを超越するものが作れるということこれは汎用性が高い

特に精神病や悩み脳との葛藤の際に使える考え方であり、科学的物理的に考えても使える考えである、例えば最高の作品を見たとき地球と同じものも作ることができるし私と同じものも作ることができる、また私以上のものも作ることができる、

つまり私はほかのだれかにも作ることが可能であるし、私は私に固執することはないが、私の苦しみや葛藤は私がいやだと思うから与えるのは当然神ではなく神がいなかろうが私自身が存在を許すわけにはいかないほどのことだ、必ず阻止すべき

宇宙の始まりかもしくはいつかの時点ですべてが存在するだろう、

倫理について、神は居るかいないかだが神がいないとは言えない、すべてが存在するという私のかんがえの上では神も存在するだろう、しかし現状の世界の状況を見たとき明らか

に神が正しいとは言えないもしくは神でさえ現状の状況を変化させれないのかもしれない、

どちらにせよ確かなことは私は以前に非常に苦しんだ際その状況を望まなかった状況があった、その時その状況よりいい状況を作り出すことができたのにそれをしなかった、それはなぜか

罪人は裁かれるのかについて、罪人はそいつ自体がなしたいことをなす中で人には人はさばけないし、人が今までやってきたことはその時懸命に生きた人たちがいたのだからそれをなかったことにもできない、

他には何があるか考えろ、本をだすそして多くに人に広め世界を最速で動かし正しい倫理観で帰る必要があるそのためにお前の賢い頭は使る走るのだ

苦しみを直視する行動できないでいるときの感情と感覚その時の嫌悪の強さに視点を充てるんだ、そうすれば大したことがないということがわかるだろう、たとえトレーニング中の最後の追い込みの時で会っても行動を抑制しようとしている嫌悪に視点を当てれば大した嫌悪はなくこの程度正直笑いながらでも超えれることに気が付くだろう、筋トレの時を思い出せあの時選択したとき大した嫌悪はなかったあの程度ならたやすく超えれる、勉強もそうだ、あの程度の嫌悪ならたやすく超えることができる、たやすく超えれるのだ、普段のように力を入れていてはだめだ、力を入れる場所が違う、見ている場所がそこではない、別の場所だ、これは情熱を燃やして見つけることができたが、違う視点と力の入れ場所を考えることで進化できる。

最高の高率で進化できるそうだ必ず進化できる

私は精神病だったと思う私がなぜここで現在生きているのかなぜ生きれているのかを語ろうすべてはすべての人が目的を達成できるために

考えろ、世界を変える方法を何をすればいいのかを、考えろ信じろ魂を自分を考えろ。考えろ何ができるのか考えろお前ならできる。

本をあと1っ花月以内に販売する販売まで持っていく、

重要なことは嘘をつかずすべてを出し尽くす

そして他の人との違いが必要だということ　何ができる時間は限られている、できる、今できることをやるんだ。一日あれば十分だ、考えろ、何ができるすべてが使えるはずだ、今動け何がいる

すべてを書けばいい俺の名前でいい、名前もいずれバレるすべてを誇れる男になｒ、れ名前を知られてなおも衰えずその恐怖やその凌辱にさえまだまださきほこりそれが日下真旗だ。。。。魂を燃やせおれがしね

おれが魂尾も痩せないで何が世界を救えるだふざけるな

本を書く、

これを書いたのは世界のすべてが目的を達成でき幸せであり、あったかい場所を作りたいと思ったからだ、世界は間違っており、私はその世界を変えたい、苦しみが一つとたりともあってはならないのだ、私の魂を持って私の全存在をもってこの人生でなしえる。

まず世界の目的を一つにする必要がある、私たちは、ただ自身だけの目的を達成しただけでそれでいいのか、それで終わりでいいのか、違う、私たちはすべての目的を達成し、みんなが笑いあえて幸せな場所を作るのが目的である。

ならば今の世界を見たときおのおのの個人が自身の目的を小さな目的を達成するため、国の中でさえ苦しむ状態になっている、一部が独占し、その独占したもの全体を目的のために使えれば今より世界が必ず良くなる。

世界に目を回せば救って見せる　世界では北朝鮮、中国、あらゆる国で国が目的を達成するためにあらゆる苦しみが生まれている。

世界の今のあり方は確実に間違っているもっといい方法があるんだ。おれらに命をつないでくれた、俺らが人類が生まれたからには最高の形で終わらせようじゃないか、俺らにはそれができる、やりたいんだ、やりたいから叶えるんだ、叶えたいから叶えるんだ。

同じものとそれ以上のものが作れる、どんなものであれ存在しようが存在しまいがおなじものそれ以上のものが作れるこれは執着をするのを解除する際にも人間がさらに進化するにも重要なのだ

意思を燃やせ、判断のとき嫌悪感に集中したときそれはさほど強くないその程度の嫌悪感で止められると思うなテクニックではないすべては情熱から生まれる

今日もがんばるぞ情熱を燃やすんだすべてのことにそれができればすべてうまくいく

はしれ。

小説を書くんだ

何ができるいまからできることをまとめる

本を販売するそれだけではだめだ

知識を出すのはアインシュタインや科学者と同じだ、論文で出して有名にはなるものの。

現実に集中する、一度しかチャンスはなく、正解を探してはだめだ、考えずに行動してから考えるのもだめだ、これは最悪だ、ただ行動するだけなら昔から生物が無限に動いてきたそれではだめなのだ、考えるのだ知識が進化の過程において重要だが、それでいて行動できなければ意味がない

昔との俺の差は、ニコラ・テスラもラマぬじゃくも言っていたが、ただ単純に考えていてもだめだ、ピントを変える、考えれる周波数に変えるのだ、その周波数では知識が無限にわいてくる

脳はいまだに感情の法衣感覚のほうに真実があると俺を誘導してくる、そのたびに多大な時間がとられているがそちらにも真実はあるのだと思う、とにかく人ととは違う視点のピントの周波すうから考え続けなければならない、それが絶対的に必要だ。

違う周波数があるのだ。

昔との差は、現実の感覚脳が与えてくる感覚を抹消面から感じそれに満喫していたというところだ、しかし幼少期、ただ感情に流されるままに、自分自身というものがそもそもわたしからなんのアクションもしなかったために存在しなかったといってい

ば判断も、意思を使うときもそれを行うのは感情による選択がある、つまり、私が現れるのは意思もすべて脳が見せているならば、私を私と思うこの感覚も脳が見せており、であれば私はいない、何かを感じるということは何かを見たり感じたりする対象自体は私ではないのだから、私はいない、

私はいない、

現実を直視して、ありのままを抵抗もせず受け入れる、その時感じた感覚を直視する、

直視して推論を立てる、この行動をして期待の成果が生まれるか、を考えるそれが出来ないと考えられれば別の確実な手を考えて、それを確実にできるのか再度試行錯誤する、それを決定的に確実にできると考えれたときデリーとを押す、そしてそれが正しくできたのか再度現実でも思考でも感覚でも直視する。

現実に本を出す際、本気でやれ、嫌悪感は多少だこれなら超えれると思え、

アインシュタインはその最高の公式でその後も公開しなければ成功をおさめれていたなのになぜ公開したのか

２、自分の公式は論理の果てに構築できた思考であり、であればあとから誰かがすぐにでも発見するだろう、今の自分がなにか世界を変えれる発明ができるだろうか、起業し、そこで新しいテクノロジーを作成したとき、そのテクノロジーを分解すれば公式が見つかりいずれにせよ、その公式を公開するのは自分ではなくなる、

最高のテクノロジーを公開するのは公式を自分が見つけれたことにできて、

その後の発展は自分一人でするより、世界と協力したほうがいい、これを公開した原理には世界が共通の目的を達成するという思考があったのだ、その思考があったから公開し、公開したことで世界は発展し豊かになったアインシュタインは偉大なことを成し遂げたのだ、最後アインシュタインは論理ではなく博愛を記したのだ。偉大だ。

私に何が出来るだろうか、考えろ。

世界は共通の目的を追いかけるべきであり私は自分一人ではなく世界が発展する道を選んだすべては皆で共通の目的を達成するために、これらを用意て新しいものを自分が生み出し、世界は豊かになるだろうが、その過程で

俺のベースは自分が独占的に新しい技術を開発し、その技術で新しい研究をして新しいものを作成することではないだろう。自分一人幸せでも幸せではない。このベースにあるのは、

しかしこれにこだわる限りせかいから争いは消えず、誰かが頂点をとると誰かが頂点を取り返す、誰かが成功を収めれば誰かが成功を取り返すそのジレンマ、私たちは私たち自身も含めてすべてを超えて進化して新し、ものを作り出すという考えであるのだが、その過程として争いは絶えず、共通モデルとして、どんな状況でもすべてを超えて新しいものが作れるという公式が必要だ、このモデルの下でみんなが協力することができる。

みんなが共通の目的を追えるようにしなくてはならない、考えろ、今日つの目的には共通のこたえた必要だ、何が出来る、考えろ

世界モデルをもっと飛躍させろ、要するにすべての奴の目的が達成できればすべてが解決するのだ、すべてが解決するのなら、何が出来るだろうか、すべての目的を達成できるのならば。何が出来るだろうか

自分が人間が自分個人の目的を達成してそれで終わる個体なのかそれとも自分だけではないほかのすべての目的を達成して終わるのかそれはどちらがいいのだろうか。自分だけ幸せになっても意味はない。みんなが幸せでなければ意味がないのだから。

これを公開したのはみんなを幸せにしたかったからだ、俺が独占的に保持してもいいが

それよりもっと俺は上を目指す、公開しなかったとしてどうなる、公開せずに自分一人で研究してはるかな高みに行けるかもしれないが、皆公開しようとはしない、それは皆金息を出ることができず苦しんでいるからに相違な人のエゴのせいでもあり、人の弱さのせいでもあるが、私が行動するのには、

公開しなかった時でその果てを極めた時を超えて見せるその果てを超えて見せるのだ、公開した状態でその果てを超えてもっと進化してやる、どっちにしても俺の目的は宇宙各国のすべてを幸せにすることだ俺は知られなくても最悪いい、

しかし、おれがすべてを上からコントロールするのも捨てがたいそれはそれが一番皆を幸せにできるかもしれないと考えたからだ、他に何がある。

公開しなかった　もう探さないその状況にも持って行ってもいいが最終的にはそれよりいいものを私が自ら作って見せる。

最高の作品を作ろう長く書く必要はない、

人は世界モデルが違えば苦しむ人が増えてしまう、世界モデルを正しいものにしないとみんなが苦しんでしまう、これを書くのも苦しかっただけど一歩ずつ書いている。

走るよ僕は止まるわけにはいかない確実に成功させて見せる。

考えろ時間もない

今の世界は間違えているそれは世界が共通の目的を追っていないからだ、共通の目的を追う必要がある、考えろ

世界は現在個人の目的を個人が達成することで構成されている、要するに、このような思考法では世界は、個人と個人は対立する争いが生まれ戦争に発展し、苦しむ人が無限に増えてしまう、

世界で共通の目的を追う必要があり、その過程が大切だ、生まれた命を無駄にせず苦しみが最小限で抑えれるようにし、できるだけ多くの人を救う必要がある。

この世界の構造は間違っているもっといい方法がある。俺の中に催促の速さを生み出すものがあるということに気が付いたおれならできるのだとしったそのきょうふ不安の

何が出来る公式は出来上がった今から絶対寝ないできることをやるんだ、朝まで走る、。人生が長すぎるから勘違いするんだ、人生はあと一時間しかない常にそうだ、

必死でやるよ、

答えがある、目指すもの個体にしろ集団にしろ目指すものと　目指すことの２つがある

個体　問い(思い)　　　　　　　答え

個体　目指すもの(思い)　　　　　答え

疑問を疑問だと感じるのも思い

思い　問い　疑問　の共通することは個人から出ることであり、　論理的プロセスと感情の調律を取る必要がある。

論理はゲーデルの不完全定理によってある程度強力な論理体系においては必ず心理の決定不能な命題が存在することが照明されている。

人間の論理的考え方にも認知的人間の認知的限界が存在する、人間の思考や判断には感情や偏見や誤った前提条件などが含まれることがあり　論理的欠損が生じる　そのため完全に論理的な判断や考えを形成することは、現実的に困難であるとされています。

共通するのは、人には目的がある、そしてその個人個人全員の目的を達成できればいいということ、

1 個体→目的、幸せになりたい(思い)　これだけは共通する

2

つまり、個人の目的が叶う　そのまた別の個人の目的が叶う

現在みな個人の目的を個人で達成しようとしている、しかし個人が自分だけでなく皆の目的を達成する考えならば達成確率は高まる。

いやこのゲームは個人が個人の目的を達成して戦い支配することではない、意味がない、全員が目的を達成しなくてはいけない。このゲームは協力するゲームなのだその協力できた、文明だけが地球だけではなく宇宙の星々で多くの他の生命体や生物が、たとえそれぞれの種族で理想や、痛み、興味、それぞれが人間とは異なる種族も出てくるでしょう、しかしだからと言って戦争を始めてはならない、このゲームは協力するゲームなんです、宇宙全体で争うゲームならざる現実にするのか、宇宙全体で協力してすべてが真に幸せな目的を持て、幸せになる過程さえも理想どうりは難しいが、理想どうりにしたいという心だけを持つことは出来る、

その人が必ず目的を達成でき、その達成した目的がその人それぞれが選べ、その人それぞれにとって望む形で叶い、不条理がなく、幸せになれるように、

まとめるとその人それぞれが望むようになるように。

世界の間違っている点

3　共通する目的がない、、

4　倫理が整っていない　望まない苦しみがある　チャンスが不平等

＋8　宗教で苦しんでいる人や、真理を探している人へ、精神病で苦しんでいる人へ

同じものそれ以上のもの

世界をどのようにすればいいのか、世界は圧倒的に苦しんでいる、どうすればいい、今は神と戦っているあらゆる不幸が降り注ぐだろうが負けるなすべてを使いこなせでなければただ一つのミスで負けて死ぬ

まず、痛みというものはあってはならない、昔苦しい経験をしたからかもしれないが痛みはあるべきではない、あってはならない。

２時間あれば十分だあきらめるな希望を持て２０分で十分だすべてを完成させれる。

本名で行く、本気以外通用しないよ、

やれることは何だい？もう隠すのはなしだ、何も隠さないなにも躊躇しない、

世界の構造が明らかに間違っている、人類全般に向けてこの思考をもとに考えてもらう必要があると思った、

私たちには皆人格があり、DNAが少し違うに過ぎない、同じ痛みを感じる、世界中には生物がたくさんいる、

世界の理想の構造

世界の構造は私の現時点の理想的なものは、　誰かが不満を持つようではいけない、　誰か一人だけの意見が優先されるようではならない

世界の全体の人が意見をして、同じだけ労働して、しかし同じだけチャンスがあって、誰一人見て見ぬふりをせず真剣に本気で語り、　難しい問題だろうが、人類だけではなく特に痛みを持つ生物に痛みを与えることは最小限にできるように本気で真剣に考える必要がある、

次に精神病治療について、私は精神的に苦しい時期があり、精神的な対策としては、

言葉と意味はつながっている　、気息的なパター構造を見るけるほうが早いのでは、はつながっている

人間は完璧に出来ない、ミスをするように出来ている、人間に精密性や完璧性を求める仕事はさせてはならない、AI技術をくしして、精密性と暗ぺ規制が求められる仕事に関しては、完全に人工知能に制御を任せるほうがいい、万が一事故が発生た場合の為に、人間が監視するなど人間とaiの得意分野をそれぞれ伸ばし続けて、よりいい社会にできるはずだ、